

**平成 2 8 年度**  
**南相馬市教育行政点検・評価結果報告書**  
**(対象年度：平成 2 7 年度)**

**南相馬市教育委員会**

# 目 次

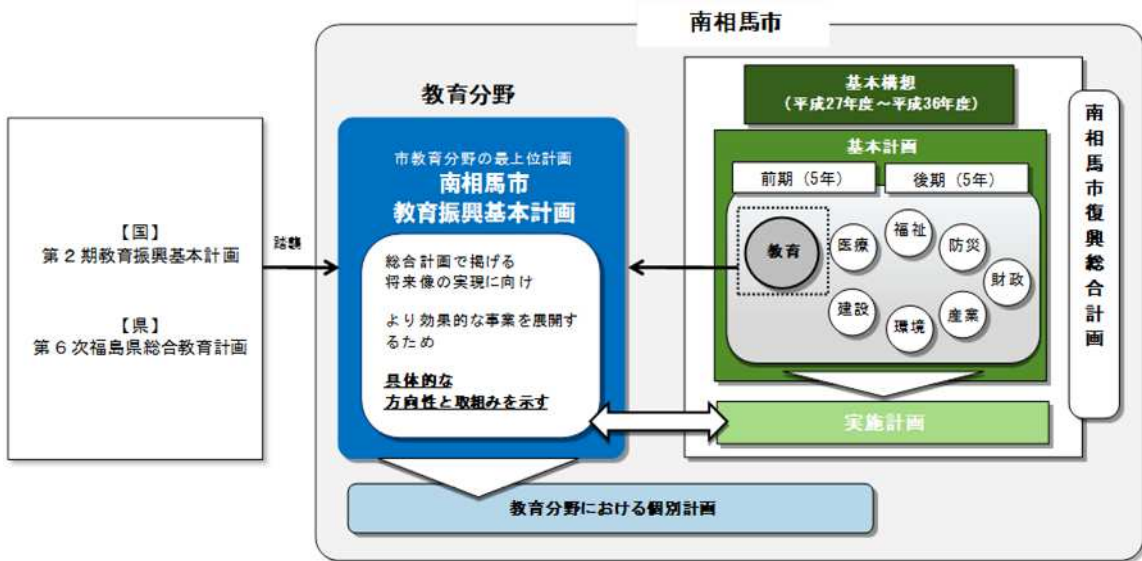
1 . 南相馬市教育振興基本計画について . . . . .	1
2 . 教育行政の点検・評価について . . . . .	4
( 1 ) 経過と実施目的	
( 2 ) 点検・評価の実施方法	
3 . 教育行政の点検・評価結果報告書について . . . . .	6
( 1 ) 学校教育 . . . . .	6
( 2 ) 生涯学習、スポーツ . . . . .	14
( 3 ) 文化 . . . . .	17
( 4 ) 幼児教育 . . . . .	20
参考資料 . . . . .	22

# 1 . 南相馬市教育振興基本計画について

本市教育委員会では、将来、市内すべての子どもたちが「夢を実現できる確かな学力」と「困難に直面しても、自ら考え行動できる力」を身に付け、未来への希望を見いだすことができるようにすることを目標に、「新しい時代に対応した教育」はもとより、「教育」が地域社会の復興、そして、発展を遂げる重要な役割と捉え、総合的かつ効果的に教育施策を推進するため、南相馬市教育振興基本計画（平成28年3月）を策定しました。

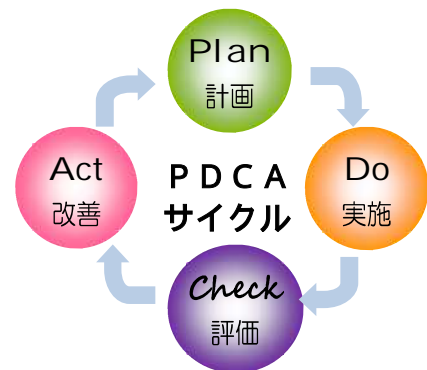
本計画の計画期間は、10年間（平成27年度～平成36年度）としており、具体的な施策や事業については、5年間（平成27年度～平成31年度）を計画期間とし、学校教育・生涯学習及びスポーツ・文化・幼児教育の各分野の基本目標から構成されており、これに基づいて各教育分野における施策を展開いたします。

## 計画の位置づけ



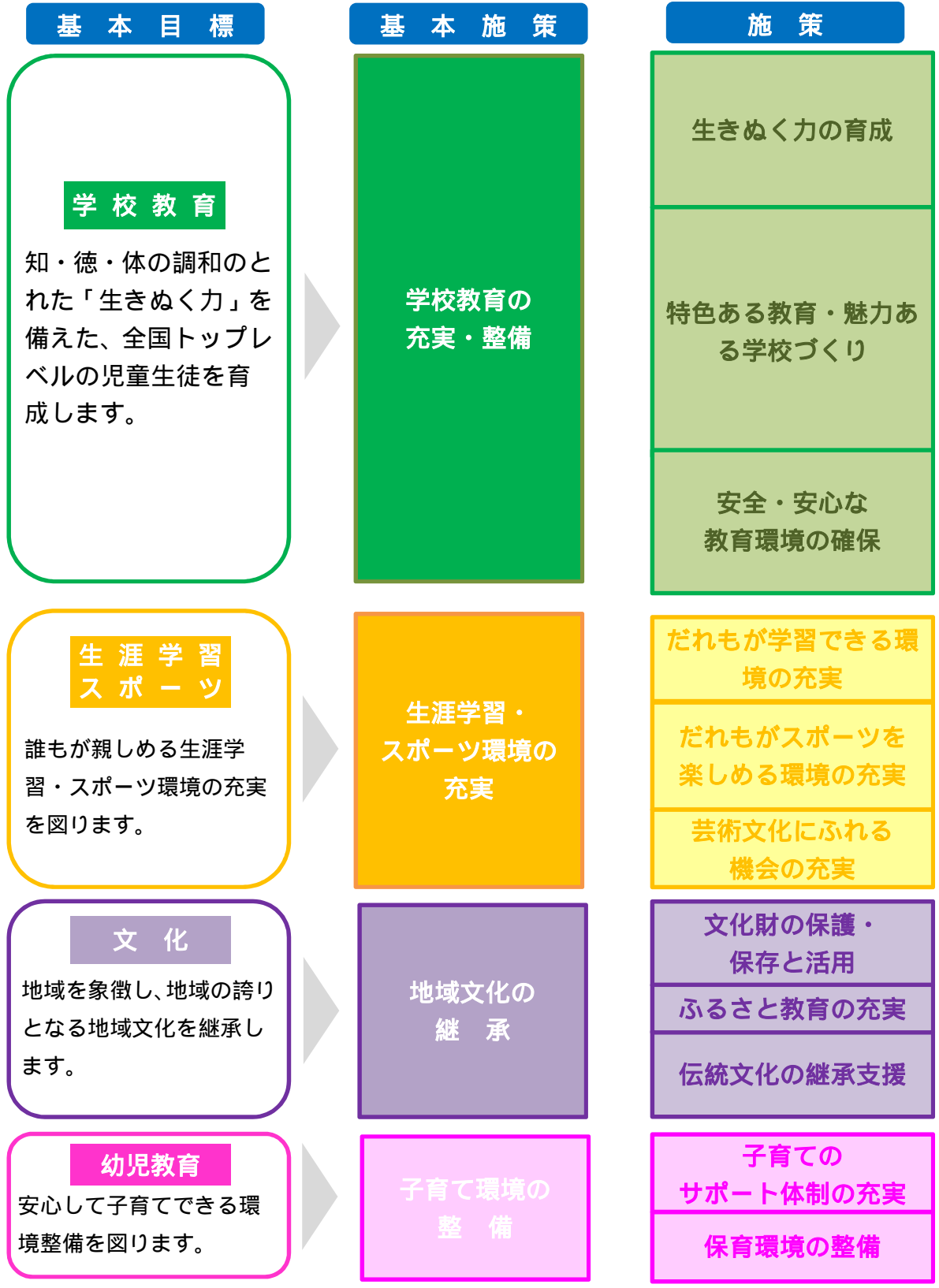
## 計画の進行管理

各施策・事業を実施するに当たっては、PDCAサイクルの考え方にに基づき、点検・評価を行い、その結果を踏まえ、より効果的な教育の実現のための見直しや改善を行い、翌年度以降の施策・事業の展開に反映します。



< 南相馬市教育振興基本計画の構成 >

**基本理念**  
**「自ら学び、自ら考え、生きぬく力を育むまちづくり」**  
 復興を超えて、新しい南相馬へ ~自らの力で社会を創造する人材の育成~



## 目指す子ども・市民の姿

1. 夢と希望を持ち、挫折や苦難に負けない生きぬく力が備わった子どもたちの育成
2. 生涯を通して成長し、新しい南相馬市を創造することができる市民

### 施策の展開

1	確かな学力を育む教育の推進
2	豊かな心を育む教育の推進
3	健やかな体を育む教育の推進
4	学校と家庭や地域が連携した教育の推進
1	特色ある学校づくりの推進
2	特色と魅力ある教育の推進
3	ICT整備事業の推進
4	学校図書館の充実
5	安心・安全な学校給食の提供
6	教育委員会制度改革に対応した教育施策の推進
1	学校施設の環境整備
2	学校安全の推進
3	地域全体で子供を支える体制づくり
4	小高区学校の再開
1	生涯学習環境の充実
2	読書環境の充実
1	生涯スポーツの充実
2	競技力の向上
3	スポーツ施設の整備
1	芸術文化活動が行いやすく、参加しやすい環境整備
2	身近に芸術文化にふれることのできる環境整備
1	文化財の整備推進
2	文化財の活用推進
1	ふるさと教育の推進
1	民俗芸能の伝承支援
2	相馬野馬追の伝承支援
1	子育て世帯への相談・支援体制の整備
2	地域における子育て環境の整備
1	休園施設の再開と保育士等人材確保
2	安心して子どもを預けられる環境の整備

## 2. 教育行政の点検・評価について

### (1) 経過と実施目的

本市教育委員会では「南相馬市教育振興基本計画」を平成20年11月に策定し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正(平成20年4月1日施行)に基づき、効果的な教育行政の推進を図るため、本計画が着実に推進されているかどうかの点検及び評価を実施してきたところである。

しかしながら、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により、本市の教育環境は一変し従前の基本計画を策定した平成20年度当時の状況から将来像を実現するために取り組む施策目標等に乖離が生じたことから、教育振興の指針となる基本計画の見直しを行い、平成27年度に新たな教育振興基本計画を策定した。

市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、引き続き教育振興基本計画における事務事業について点検及び評価を行うこととする。

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### (2) 点検・評価の実施方法

教育振興基本計画は、上位計画となる南相馬市復興総合計画(平成27年3月策定)の計画期間である平成27年度から平成36年度までの10年間を計画期間としている。点検及び評価の対象は、教育振興基本計画に掲げられた施策及び施策を構成する事業(以下「施策等」という。)で平成27年度に執行した事業とし、次年度以降の施策等の推進に向けて、以下の観点を基本として点検及び評価を実施することとする。

## 【点検・評価の内容】

### < 点検 >

「必要性」「効率性」「有効性」を踏まえ平成27年度末現在での点検を行う。

必要性...施策等を推進する目的が適切であり、行う必要性があること。

効率性...費用対効果、事業期間が適正であること。

有効性...施策達成のため有効であり、期待された効果が得られること。

### < 評価 >

「A 拡充」「B 現状維持」「C 改善・再構築」「D 終了・廃止」により評価する。

#### A 拡充

事業の目的・手段等が適切であり、現段階においても著しい成果をあげていることから、引き続きより積極的に事業を展開していく事業。又は、十分に実施できない点があったが、目的・手段等が適切で成果が見込まれることから、今後、積極的に推進していく事業。

#### B 現状維持

事業の目的・手段等が適切であり、着実な成果が見込まれることから概ね現行どおりの手段等で推進していく事業。

#### C 改善・再構築

事業の目的は適切であるが、より効率的、効果的な事業推進を目指し、実施方法・手段等について改善を行う事業（事業の一部改善、見直し）。

#### D 終了・廃止

事業目的を達成し終了する事業。又は、必要性がなくなったものや効果が著しくないことから廃止する事業。

### 3 . 教育行政の点検・評価結果報告書について

教育行政の点検・評価結果報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条2項に基づき、教育委員会事務局が行った点検・評価（自己評価）結果について教育に関する有識者からご意見等をいただき作成した。

#### (1) 学校教育

**基本目標**

**知・徳・体の調和のとれた「生きぬく力」を備えた、全国トップレベルの児童生徒を育成します。**

基本施策 1	学校教育の充実・整備
施策 1	「生きぬく力」の育成
施策の展開 1	確かな学力を育む教育の推進

【取組内容】 南相馬市版「授業改善プラン」に基づく学力向上の取組み  
 分かる授業の確実な取組み  
 教職員の指導力向上の取組み

【主な事業】 授業改善研究事業、ICT整備事業、スーパーティーチャー招へい事業等

【総合評価】 児童生徒の確かな学力の向上に資する授業改善等に加えて、スーパーティーチャーを招いての授業を行い、児童生徒に学習することの意義を考えさせる機会の提供等に取り組んだ。今後も教育現場の実情に合わせてより効果的な教職員の研修等を行いながら、教育現場との連携を強化し、教育環境の充実を図り学力向上に繋げていく必要がある。

#### 【成果指標】

指 標	初期値 (H26年度)	現状値 (H27年度)	目標値 (H31年度)
南相馬市標準学力検査	小学生	小学生	小学生
	全国平均と同程度	全国平均と同程度	全国平均を上回る
	中学校	中学校	中学校
	全国平均と同程度 か下回る	全国平均と同程度	全国平均を上回る

#### 【委員からの主な意見と各課の取組み等】

スーパーティーチャー招へい事業は、大学教授も含めて招いているが、小学校には小学校の先生を中学校には中学校の先生を招いた方が、より効果的ではないか。

前年度に招いた秋田県教育専門監は実際に中学校の先生であり、大学教授の



中に小中学校の先生だった方々もいる。今後も現場の実情に合った講師を招いていく。

継続し取り組んでいただきたい。

<b>施策の展開 2</b>	<b>豊かな心を育む教育の推進</b>
----------------	---------------------

【取組内容】 郷土愛・生命尊重・強い意志等に重点をおいた道徳教育の取組み  
いじめ・不登校対策等強化の取組み

【主な事業】道徳教育強化推進事業、いじめ問題対策事業 等

【総合評価】不登校・いじめ・暴力など児童生徒の問題が多様化する状況に対応し児童生徒の悩み解決や健全な成長を助けるための事業展開に努めた。今後も教職員、保護者等が情報共有しながらも個に応じた支援を継続して実施していく必要がある。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
不登校児童生徒数 ( 1,000 人当たり )	4 . 5 人 児童 2.3 人 生徒 8.2 人	4 . 2 人 児童 2.7 人 生徒 6.6 人	0 人

【委員からの主な意見と各課の取組み等】

指標「不登校児童生徒数」について、児童生徒は発達状況等も違うことから、合算ではなく分けて管理する方がよいのではないか。

実際には児童生徒数を分けて管理している。指標としては設定しているが、教育行政点検・評価業務のなかでは、児童生徒を分けた数値を併せて報告していく。

<b>施策の展開 3</b>	<b>健やかな体を育む教育の推進</b>
----------------	----------------------

【取組内容】 健康・体力向上の取組み

全教育活動を通じた食育の推進

【主な事業】児童生徒体力向上推進事業、食に関する指導推進事業 等

【総合評価】児童生徒の体力を向上させ健やかな体を育むことを目的に各事業に取り組んだ。また、生活習慣病の早期発見と改善指導のため検診を実施するなど計画的・継続的に実施している。体力向上は持続的に展開していく必要がある。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
新体力テスト	全国平均同程度	全国平均同程度	全国平均を上回る

施策の展開 4	学校と家庭や地域が連携した教育の推進
---------	--------------------

【取組内容】 開かれた学校づくりの推進の取組み

家庭・地域教育の推進

学校からの情報発信の推進

【主な事業】 学校評議員活用事業、家庭教育支援総合推進事業

学校情報発信強化事業 等

【総合評価】 開かれた学校づくりのため、地域等からの意見・助言を学校運営に反映させるとともに、学校情報の積極的な提供などを実施した。

また、保護者等を対象とした講座を通じ、家庭・社会と連携した家庭教育の支援を行った。今後も家庭・地域社会と連携協力し教育環境の充実を図る必要がある。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
「学校と地域社会との連携」に「満足」 「やや満足」している割合 アンケート調査結果	小学生保護者 41.8%	小学生保護者 45.1%	小学生保護者 70.0%
	中学生保護者 35.3%	中学生保護者 39.2%	中学生保護者 70.0%

「アンケート調査結果」はH28年度に調査した結果です。

施 策 2	特色ある教育・魅力ある学校づくり
施策の展開 1	特色ある学校づくりの推進

【取組内容】 特色ある学校づくりの取組み

幼(保)・小・中・高連携推進の取組み

【主な事業】 特色ある学校づくり支援事業、小・中連携推進事業 等

【総合評価】 帰還促進及び復興や地域づくりに貢献できる「生きぬく力」を持った人材育成に資するため、学力向上はもとより魅力ある学校づくりに取り組んだ。今後も各分野で魅力ある学校づくりを意識し、復興につながる人材育成を図る必要がある。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
「学校に行くのはとても楽しい、おおよそ楽しい」と回答した割合 全国学力学習状況調査児童生徒質問	84.0%	84.1%	90.0%

【委員からの主な意見と各課の取組み等】

特色ある学校づくり支援事業は、学校の実情に合わせて活用している。今後も継続した取組みが必要である。

施策の展開 2	特色と魅力ある教育の推進
---------	--------------

【取組内容】 社会を担う者としての資質を育む教育充実の取組み  
 子どもの健康を守るための放射線教育充実の取組み  
 スポーツ及び芸術分野充実の取組み  
 特別支援教育の充実の取組み

【主な事業】 キャリア教育支援事業、放射線教育推進事業  
 小学校部活動支援事業、学習支援員配置事業 等

【総合評価】 児童生徒が将来の夢や希望を持ち、生き方を考え行動する能力の育成を重点として取り組んだ。夢や希望を実現するために必要となる技術習得及び指導者の指導力向上に資する取組は、今後も必要である。また、南相馬市に生きる幼児及び児童生徒に放射線の正しい知識を習得させることや運動教室等を通じて体力向上、ストレス解消を図ることは今後も必要となるが、事業内容の一部見直し等を検討しながら進めていく。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
「将来の夢や目標をしっかりと持っている・おおそ持っている」と回答した割合 全国学力学習状況調査児童生徒質問	80.0%	78.2%	90.0%

【委員からの主な意見と各課の取組み等】

園児の健康を守る安全・安心対策支援事業は、事業の趣旨に合致するよう各施設が団体を任意で選択できるような工夫も必要ではないか。  
 各施設や他団体の意向等を踏まえながら、必要な措置を検討していく。  
 小中学校交流の集い事業は、震災から約5年が経過していること・帰還する児童生徒の減少・小高区小中学校の再開などに伴い、今後は実情に合った内容への見直しが必要である。  
 市内各校に依然として区域外就学の児童生徒がいることから、交流会の参加人数等を考慮し検討していく。小高区小中学校も継続しながら実情に合った内容を検討していく。

施策の展開 3	I C T 整備事業の推進
---------	---------------

【取組内容】 I C T を活用した教育推進の取組み

【主な事業】 I C T 整備事業

【総合評価】 学習意欲の向上を図る I C T 整備事業については、平成 27 年度にモデル校で導入し、翌平成 28 年度には市内全学校を対象に機器を整備している。今後も教育支援（研修等）を行いながら、効果的な教育活動を目指して環境整備し、学力向上につなげていく必要がある。

**【成果指標】**

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
授業中に ICT を活用して指導する能力について「わりにできる」「ややできる」と回答した教員の割合 学校における教育の情報化の実態等に関する調査	65.9%	65.3%	100%

**【委員からの主な意見と各課の取組み等】**

成果指標の現状値では約3分の1にあたる先生が、ICT機器を活用しきれていない結果である。早急に先生方への支援策を推進するべきである。

ICT機器の導入に合わせて先生方への研修や支援員の配置を行っている。今後も機器整備のみならず、支援策を充実させていく。

学校現場は電子黒板等の活用により授業効率は上がっている一方で、機器の使用に不安がある先生もいることから、支援策の継続と充実は必要である。

施策の展開 4	学校図書館の充実
---------	----------

**【取組内容】** 学校図書館活用の取組み

**【主な事業】** 学校図書館支援事業

**【総合評価】** 中央図書館が学校図書館支援員を市内小中学校に派遣し、児童生徒の自由な読書活動の推進及び主体的な学習活動を支援するため、学校図書館の環境整備に取り組んだ。

今後も、学校と中央図書館が連携し、児童生徒が学習の楽しさを実感できるよう、より一層の環境整備を行う必要がある。

**【成果指標】**

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
一か月の平均読書冊数 ( 福島県「読書に関する調査」 )	小学6年3.9冊、 中学3年3.0冊	小学6年5.5冊 中学3年2.6冊	小学6年6.0冊 中学3年6.0冊

施策の展開 5	安心・安全な学校給食の提供
---------	---------------

**【取組内容】** 学校給食充実の取組み

学校給食食材等の検査体制充実の取組み

**【主な事業】** 魅力ある給食提供事業、学校給食検査体制整備事業 等

**【総合評価】** 給食食材のより一層の安心安全の確保のため、継続して事業に取り組んだ。また、その調査結果を広く情報提供することにより、給食食材への信頼を得ることが出来る。今後も継続して検査及び検査結果の情報発信していく必要がある。

**【成果指標】**

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
食に関する意識調査で「安全」「ほぼ安全」の割合	97.5%	97.5%	100.0%

施策の展開 6	教育委員会制度改革に対応した教育施策の推進
---------	-----------------------

**【取組内容】** 教育委員会制度の改革に対応した教育施策推進の取組み

**【主な事業】** 教育行政連携推進事業

**【総合評価】** 教育委員会制度の改革に伴い設置された総合教育会議を通し、市長と教育委員会が連携を図りながら、市民の意向を反映した教育行政を推進する。平成 27 年度は教育振興基本計画の策定について協議を行ったが、今後も諸問題解決のため学識経験者の力を借りるなど、更なる推進が必要である。

**【成果指標】** なし

施 策 3	安全・安心な教育環境の確保
施策の展開 1	学校施設の環境整備

**【取組内容】** 学校施設の環境整備の推進

**【主な事業】** 小学校施設営繕事業、中学校施設営繕事業

**【総合評価】** 教育環境の改善と安全性確保に向けて、教育施設の維持管理を行った。今後も計画的な維持保全や老朽化対策を行うことが安全確保に向けて必要である。

**【成果指標】**

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
学校施設の改修率	65.0%	71.3%	85.0%

施策の展開 2	学校安全の推進
---------	---------

**【取組内容】** 学校安全の推進

**【主な事業】** 安全教育推進事業、安全管理推進事業、防災・安全教育充実事業

**【総合評価】** 各学校において交通安全教室、避難訓練等に取り組むなど各校の実態に応じて実施されている。また、学校内に限らず通学路や地域における危険回避能力を高めることも必要であるが、内容等が重複している事業もあることから、事業を再編してより効果的な事業の推進に努める必要がある。また、各学校の危機管理マニュアルの点検等を進めていく。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
危機管理マニュアル作成率・避難訓練実施率	100.0%	100.0%	100.0%

【委員からの主な意見と各課の取組み等】

各学校で作成している危機管理マニュアルや避難訓練の内容は、市内各学校での共有や統一したものとなっているのか。

各学校の危機管理マニュアルの共有や統一には至っていないが、震災後の避難訓練等の内容見直しや教育委員会事務局の確認・指導等を行ってきた。今後も危機管理マニュアルの点検を進めていく。

施策の展開 3	地域全体で子どもを支える体制づくり
---------	-------------------

【取組内容】 地域と一体となった安全・安心の環境づくり推進の取組み  
関係機関との連携による児童生徒の支援

【主な事業】 地域ぐるみ学校安全推進事業、みんなでつくる安全体制強化事業

【総合評価】 事件・事故への的確な対応のために警察などと連携体制の確認等を行った。また、通学路や行動範囲の「安全マップ」を作成し、児童生徒に危険回避能力を育成する取組みを行った。今後も保護者、地域、関係機関等の協力を得ながら子どもたちが安心して生活環境づくりの一環として取り組んでいく必要があるが、重複している事業もあることから、事業を再編しより効果的な事業の推進に努める必要がある。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
「小中学校の防犯等の安全性」に 「満足」「やや満足」している割合 アンケート調査	小学生保護者 30.1%	小学生保護者 33.1%	小学生保護者 80%
	中学生保護者 28.1%	中学生保護者 31.5%	中学生保護者 80%

「アンケート調査結果」はH28年度に調査した結果です。

【委員からの主な意見と各課の取組み等】

成果指標である「小中学校の防犯等の安全性に満足している割合」の現状値が3割程度に留っている。行政が積極的に事業を展開し、地域全体で子ども達を守っていく支援を行うことが必要である。

子ども達を地域全体で支える取組みについては、見直しながら進めていく。

施策の展開 4	小高区学校の再開
---------	----------

【取組内容】 小高区での学校再開

【主な事業】 小高区小中学校再開事業

【総合評価】 小高区での学校再開に向け、児童生徒が安全で安心して学習できる環境を整えるため、施設・備品の整備や清掃等を実施した。平成 28 年度も同様に再開への準備を計画的に実施する必要がある。

【成果指標】 なし

## (2) 生涯学習スポーツ

### 基本目標

誰もが親しめる生涯学習・スポーツ環境の充実を図ります。

基本施策 1	生涯学習・スポーツ環境の整備
施策 1	だれもが学習できる環境の充実
施策の展開 1	生涯学習環境の充実

- 【取組内容】 生涯学習充実の取組み  
生涯学習指導者育成の取組み  
生涯学習施設の適正管理の取組み
- 【主な事業】 生涯学習まちづくり事業、「地域の力」再生支援事業  
生涯学習センター管理運営事業
- 【総合評価】 幅広い市民の学習ニーズ等を的確に捉えるため、生涯学習推進委員を設置している。市民及び各分野の関係機関と連携し講座、研修会等を行い、今後も地域での触れあいや市民・団体への学習機会の提供など幅広い企画を実現していくことが必要である。

#### 【成果指標】

指 標	初期値 (H26年度)	現状値 (H27年度)	目標値 (H31年度)
「生涯学習の機会の提供」に「満足」「やや満足」している割合 アンケート調査	市民 24.0%	市民 25.3%	市民 28.8%

「アンケート調査結果」はH28年度に調査した結果です。

施策の展開 2	読書環境の充実
---------	---------

- 【取組内容】 子どもの読書活動推進の取組み  
高齢者や障がい者等への読書活動支援の取組み
- 【主な事業】 子どもの読書活動推進計画策定事業、移動図書館管理運営事業 等
- 【総合評価】 子どもの読書活動の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的とした第二次南相馬市子ども読書活動推進計画を策定した。今後はこの計画に基づき子どもたちの自由な読書活動の推進及び主体的な学習活動の支援を実施する必要がある。

#### 【成果指標】

指 標	初期値 (H26年度)	現状値 (H27年度)	目標値 (H31年度)
市民一人当たりの貸出冊数	5.6冊	6.1冊	8.0冊



施 策 2	だれもがスポーツを楽しめる環境の充実
施策の展開 1	生涯スポーツの充実

【取組内容】 生涯スポーツ推進の取組み

【主な事業】 市内地域間の市民スポーツ交流事業、体力・運動能力向上イベント推進事業、学校体育施設開放事業 等

【総合評価】 市民のスポーツ機会の拡充と健康増進やスポーツ活動における交流機会の活性化に向けて、スポーツ施設使用料免除・施設の維持管理・各教室や大会の開催運営に取り組んだ。今後は、大会等の一部見直しを検討し、より一層のスポーツ振興に資する必要がある。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
スポーツ・運動している人の割合	48.0%	49.0%	60.0%

施策の展開 2	競技力の向上
---------	--------

【取組内容】 競技力向上の取組み

【主な事業】 種目別競技力向上対策事業、各種スポーツ団体の育成支援事業 等

【総合評価】 各分野での競技力向上を目的とし、選手・団体に対して運営支援のための補助金や上位大会活動の激励金を交付した。今後もより高い目標を目指す意識の醸成や技術の習得などを支援していく必要がある。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
全国的に活躍する本市在住・出身選手数	15 人	17 人	30 人

施策の展開 3	スポーツ施設の整備
---------	-----------

【取組内容】 スポーツ施設整備の取組み

【主な事業】 パークゴルフ場整備事業、テニスコート増設事業 等

【総合評価】 市民に安心安全なスポーツ環境を提供するため、各スポーツ施設の改修・補修及びパークゴルフ場・テニスコート増設のための測量設計や工事を行った。今後も地域間・世代間交流を深めることを目指し、既存施設の適正管理や新たな施設の整備を検討する。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
スポーツ施設利用者数	225,581 人	279,644 人	232,000 人

施 策 3	芸術文化にふれる機会の充実
施策の展開 1	芸術文化活動が行いやすく、参加しやすい環境整備

【取組内容】 市民の自主的な芸術文化活動推進の取組み

【主な事業】 総合芸術祭支援事業、地域文化団体育成事業

【総合評価】 市民の自主的な芸術活動の活性化及び地域文化の振興と育成を図るため、関係団体等を支援する補助金の交付を行った。今後も文化振興に向けて芸術活動を継続支援する必要がある。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
芸術文化団体数	226 団体	235 団体	271 団体

施策の展開 2	身近に芸術文化にふれることのできる環境整備
---------	-----------------------

【取組内容】 魅力ある鑑賞事業・体験事業の充実の取組み  
市民参加型による芸術文化の推進の取組み

【主な事業】 学校等芸術文化活動支援事業、魅力ある芸術文化活動推進事業  
総合美術展覧会開催事業 等

【総合評価】 市民の芸術文化活動の活性化を図るため、学校活動への支援・分野を超えたイベント開催による団体間の交流促進などに取り組んだ。また、地元作家の技術向上と交流及び市民の美術への理解と関心を高めるため「総合美術展覧会」を開催しており、今後も継続的に取り組み環境の充実を図る必要がある。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
鑑賞者数	81,000 人	85,000 人	100,000 人
芸術祭参加数	0 人	0 人	500 人

### (3) 文化

#### 基本目標

地域を象徴し、地域の誇りとなる地域文化を継承します。

基本施策 1	地域文化の継承
施策 1	文化財の保護・保存と活用
施策の展開 1	文化財の整備推進

【取組内容】 指定文化財等の適切な保護・保存の取組み  
被災文化財等の復旧及び震災関連資料伝承への取組み

【主な事業】 歴史文化基本構想等の策定事業、  
震災関連資料の保存・活用事業 等

【総合評価】 市内に残る文化財の保存活用・継承を図るため「埋蔵文化財の調査」「各史跡の保存」「歴史文化基本構想策定準備」に取り組んだ。また、震災で被災した文化財の復旧にも継続的に取組み「地域の歴史」として風化させないことや震災関連資料の保存・活用についても博物館を活用した事業を展開し後世に伝承していく必要がある。

#### 【成果指標】

指 標	初期値 (H26年度)	現状値 (H27年度)	目標値 (H31年度)
「文化財の保護と活用」に「満足」「やや満足」している割合 アンケート調査結果	市民 24.2%	市民 28.1%	市民 35.0%

「アンケート調査結果」はH28年度に調査した結果です。

#### 【委員からの主な意見と各課の取組み等】

震災関連資料の活用は、市立博物館を活かしてより一層充実させることが必要である。

指標の見直しの検討及び震災関連資料の保存・活用事業についても、博物館機能を活用した事業展開を進める。

施策の展開 2	文化財の活用推進
---------	----------

【取組内容】文化財見学・公開促進の取組み

【主な事業】魅力ある文化財公開事業、文化財活用事業

【総合評価】文化財施設等への来訪促進や文化財の保存活用に向けて、文化財の積極的な一般公開及びワークショップの開催等に取り組んだ。今後も継続した事業を展開し、地域文化財への認知度や愛着が深まる取組みが必要である。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
文化財案内のパンフレットの配布数	9,000 枚	8,900 枚	12,000 枚

施 策 2	ふるさと教育の充実
施策の展開 1	ふるさと教育の推進

【取組内容】地域文化伝承の取組み

【主な事業】博物館企画展示事業、報徳精神がいきづくまちづくり事業 等

【総合評価】本市の特色を生かした魅力ある博物館運営を目指し、特別展示の企画・開催や体験学習・講座について積極的に取り組んだ。また、報徳仕法のいきづく本市において、その教えを継承し更に推進するため、関係機関等と連携し報徳仕法に関する学習機会の提供も併せて実施した。今後も市民のふるさと教育に資する事業について、継続的に取り組んでいく必要がある。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
「郷土を愛する心を育む教育」に「満足」「やや満足」している割合 アンケート調査結果	市 民 16.4%	市 民 20.4%	市 民 40.0%
南相馬市で「自慢できるところ」「好きなところ」が「ある」「少しある」という割合 アンケート調査結果	小学生 53.4% 中学生 46.0%	小学生 56.5% 中学生 50.2%	小学生 75.0% 中学生 75.0%

「アンケート調査結果」はH28年度に調査した結果です。

施 策 3	伝統文化の継承支援
施策の展開 1	民俗芸能の伝承支援

【取組内容】民俗芸能伝承活動支援の取組み

【主な事業】民俗芸能発表会事業

【総合評価】地域等の伝統芸能伝承活動の活性化を図るため、市内に継承されている民俗芸能の発表の場として「民俗芸能発表会」を開催した。地域の伝統文化の継承を図るとともに震災により影響を受けた地域コミュニティの再生に向けた取組みを実施していく必要がある。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
民俗芸能団体数	59 団体	59 団体	59 団体

## (4) 幼児教育

### 基本目標

安心して子育てできる環境整備を図ります。

施策1	子育てのサポート体制の充実
施策の展開1	子育て世帯への相談・支援体制の整備

【取組内容】家庭や地域における子育て支援充実の取組み

【主な事業】地域子育て連携強化事業、子育て支援センター活用事業

【総合評価】地域全体で子育て支援する基盤形成を図るため、既存施設を活用し子育て支援センター運営に取り組んだ。今後も園舎解放等も併せて行いながら、保護者のストレス発散・育児不安の解消及び保護者間のコミュニティ形成に取り組んでいく必要がある。

【成果指標】

指標	初期値 (H26年度)	現状値 (H27年度)	目標値 (H31年度)
子育て支援センター利用者数	延べ 10,074人	延べ 6,891人	延べ 12,000人

施策の展開2	地域における子育て環境の整備
--------	----------------

【取組内容】 地域の中で安心して子育てできる環境充実の取組み  
小学校入学前教育推進の取組み  
放課後児童健全育成推進の取組み

【主な事業】一時預かり事業、幼稚園・保育園・小学校交流事業  
放課後児童健全育成事業 等

【総合評価】保護者及び家族等の急病や勤務形態に伴い、家庭で保育を受けることが一時的に困難となる乳児又は幼児の適切な環境での保育や放課後に保護者等が不在である児童の居場所確保を目的として、一時預かり保育及び放課後児童クラブの運営に取り組んだ。また、幼稚園・保育園・小学校が連携して交流会等を開催することにより職員間の情報共有が図られ、就学時の円滑な引継ぎが促進される。今後も継続して事業展開することで小1プロブレムの解消を促進する必要がある。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
「子育て支援」に「満足」「やや満足」している割合 アンケート調査結果	市民 14.6%	市民 17.8%	市民 30.0%

「アンケート調査結果」はH28年度に調査した結果です。

施 策 2	保育環境の整備
施策の展開 1	休園施設の再開と保育士等人材確保

【取組内容】子育て世代への経済的な支援の取組み

【主な事業】保育園（所）保育料無料化事業、幼稚園授業料無料化事業 等

【総合評価】子育てしやすい環境の充実を図るため、保育園（所）の保育料・公立私立幼稚園の授業料を無料としている（私立幼稚園は実質無料となるよう補助対応）。また、認可外保育施設の保育料についても一部を助成している。しかし、いずれも平成26年～29年度までの時限措置であることから、平成30年度以降については、事業効果を検証し継続の有無を決定する。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H27 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
市内幼稚園・保育園再開施設数	15 施設	16 施設	18 施設

施策の展開 2	安心して子どもを預けられる環境の整備
---------	--------------------

【取組内容】保育サービス充実の取組み

【主な事業】一時預かり事業

【総合評価】保護者及び家族等の急病や勤務形態など、急激な社会情勢の多様化に伴い、家庭で保育を受けることが一時的に困難となる乳児又は幼児を適正な環境での保育を図るため、保育所での一時預かり保育を実施した。一時的な保育環境を整備することで保護者等における育児のスムーズ化が図れるため、今後も継続して取り組む必要がある。

【成果指標】

指 標	初期値 ( H26 年度 )	現状値 ( H28 年度 )	目標値 ( H31 年度 )
「幼稚園・保育園等における幼児教育の充実」に「満足」「やや満足」している割合 アンケート調査結果	市民 20.8%	市民 26.0%	市民 40.0%

「アンケート調査結果」はH28年度に調査した結果です。

< 参考資料 > ( 成果指標一覧等 )

1 . 学校教育

指 標	初期値 (平成 26 年度)	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 31 年度)
南相馬市標準学力検査	小学生 全国平均同程度  中学生 全国平均同程度 か下回る	小学生 全国平均同程度  中学生 全国平均同程度	小学生 全国平均を上回る  中学生 全国平均を上回る
不登校児童生徒数 (1,000 人当たり)	4.5 人	4.2 人	0 人
新体力テスト	全国平均同程度	全国平均同程度	全国平均を上回る
「学校と地域社会との連携」に 「満足」「やや満足」している 割合 (アンケート調査結果)	小学生保護者 41.8% 中学生保護者 35.3%	小学生保護者 45.1% 中学生保護者 39.2%	小学生保護者 70.0% 中学生保護者 70.0%

「アンケート調査結果」はH28年度に調査した結果です。



重点プログラム                      拡充                      現状維持                      改善・再構築                      終了・廃止

取組内容	事業名	評価
南相馬市版「授業改善プラン」に基づく学力向上の取組み	・授業改善研究事業	
分かる授業の確実な取組み	・活用力向上事業	
	・個に応じた学習形態導入事業	
	・ICT整備事業	
	・外国青年招致事業	
	・家庭学習定着化事業	
教職員の指導力向上の取組み	・教職員校内研修支援事業	
	・スーパーティーチャー招へい事業	
	・基礎学力向上対策事業	
	・教職員指導・相談支援事業	
	・学校教育支援センター活用事業	
	・教職員指導力向上研修事業	
	・教職員校務負担軽減事業	
郷土愛・生命尊重・強い意志等に重点をおいた道徳教育の取組み	・道徳教育強化推進事業	
いじめ・不登校対策等強化の取組み	・いじめ問題対策事業	
	・学校不適応対策事業	
	・スクールカウンセラー心のケア支援事業	
健康・体力向上の取組み	・児童生徒体力向上推進事業	
	・子どもスポーツ活動促進事業	
全教育活動を通じた食育の推進	・食に関する指導推進事業	
	・生活習慣病対策事業	
開かれた学校づくりの推進の取組み	・学校評議員活用事業	
	・地域と連携した学校づくり推進	
家庭・地域教育の推進	・家庭教育支援総合推進事業	
	・女性団体活動支援事業	
	・子ども地域交流推進事業	
学校からの情報発信の推進	・学校情報発信強化事業	
	・「ふくしま教育週間」強化事業	

指 標	初期値 (平成 26 年度)	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 31 年度)
「学校に行くのはとても楽しい、おおよそ楽しい」と回答した割合 全国学力学習状況調査児童生徒質問	84%	84.1%	90%
「将来の夢や目標をしっかり持っている・おおよそ持っている」と回答した割合 全国学力学習状況調査児童生徒質問	80%	78.2%	90%
授業中に ICT を活用して指導する能力について「わりにできる」「ややできる」と回答した教員の割合 学校における教育の情報化の実態等に関する調査	65.9%	65.3%	100.0%
一か月の平均読書冊数 (福島県「読書に関する調査」)	小学 6 年 3.9 冊 中学 3 年 3.0 冊	小学 6 年 5.5 冊 中学 3 年 2.6 冊	小学 6 年 6.0 冊 中学 3 年 6.0 冊

重点プログラム

拡充

現状維持

改善・再構築

終了・廃止

取組内容	事業名	評価
特色ある学校づくりの取組み	・特色ある学校づくり支援事業	
	・小中学校交流の集い事業	
	・学習塾等と連携した学力強化推進事業	
幼（保）・小・中・高連携推進の取組み	・幼（保）・小連携推進事業	
	・小・中連携推進事業	
	・中・高連携推進事業	
社会を担う者としての資質を育む教育充実の取組み	・キャリア教育支援事業	
	・中学生職場体験等支援事業	
	・成人者意識啓発事業	
	・ライフプランアドバイス事業	
子どもの健康を守るための放射線教育充実の取組み	・放射線教育推進事業	
	・児童・生徒の健康を守る安全安心対策支援事業	
	・園児の健康を守る安全安心対策支援事業	
スポーツ及び芸術分野充実の取組み	・小学校部活動支援事業	
	・中学校部活動支援事業	
特別支援教育の充実の取組み	・学習支援員配置事業	
	・介助員配置事業	
I C Tを活用した教育推進の取組み	・I C T整備事業（再掲）	
学校図書館活用の取組み	・学校図書館支援事業	

指 標	初期値 (平成 26 年度)	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 31 年度)
食に関する意識調査で「安全」「ほぼ安全」の割合	97.5%	97.5%	100%
学校施設の改修率	65.0%	71.3%	85.0%
危機管理マニュアル作成率・避難訓練実施率	100.0%	100.0%	100.0%
「小中学校の防犯等の安全性」に「満足」「やや満足」している割合 アンケート調査	小学生保護者 30.1% 中学生保護者 28.1%	小学生保護者 33.1% 中学生保護者 31.5%	小学生保護者 80.0% 中学生保護者 80.0%

「アンケート調査結果」はH 2 8 年度に調査した結果です。

重点プログラム

拡充

現状維持

改善・再構築

終了・廃止

取組内容	事業名	評価
学校給食充実の取組み	・魅力ある給食提供事業	
学校給食食材等の検査体制充実の取組み	・私立保育所等給食検査支援事業	
	・公立保育所等給食検査事業	
	・学校給食検査体制整備事業	
学校施設的环境整備の推進	・小学校施設営繕事業	
	・中学校施設営繕事業	
学校安全の推進	・安全教育推進事業	
	・安全管理推進事業	
	・防災・安全教育充実事業	
地域と一体となった安全・安心の環境づくり推進の取組み	・地域ぐるみ学校安全推進事業	
関係機関との連携による児童生徒の支援	・みんなでつくる安全体制強化事業	
小高区での学校再開	・小高区小中学校再開事業	

## 2 . 生涯学習、スポーツ

指 標	初期値 (平成 26 年度)	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 31 年度)
「生涯学習の機会の提供」 に「満足」「やや満足」し ている割合 アンケート調査	市民 24.0%	市民 25.3%	市民 28.8%
市民一人当たりの貸出冊 数	5.6 冊	6.1 冊	8.0 冊
スポーツ・運動している人 の割合	48.0%	49.0%	60.0%
全国的に活躍する本市在 住・出身選手数	15 人	17 人	30 人
スポーツ施設利用者数	225,581 人	279,644 人	232,000 人

「アンケート調査結果」はH 2 8 年度に調査した結果です。

重点プログラム

拡充

現状維持

改善・再構築

終了・廃止

取組内容	事業名	評価
生涯学習充実の取組み	・生涯学習まちづくり事業	
	・市内高等教育機関活用事業	
	・生涯学習推進委員設置事業	
	・避難者ふれあい、生涯学習推進事業	
生涯学習指導者育成の取組み	・「地域の力」再生支援事業	
	・学習活動団体育成支援事業	
生涯学習施設の適正管理の取組み	・生涯学習センター管理運営事業	
子どもの読書活動推進の取組み	・子どもの読書活動推進計画策定事業	
	・学校図書館支援事業	
高齢者や障がい者等への読書活動支援の取組み	・移動図書館管理運営事業	
生涯スポーツ推進の取組み	・学校体育施設開放事業	
	・みらい元気挑戦ウェルカムベースボール事業	
	・スポーツ推進審議会設置事業	
	・体育施設維持管理事業	
	・体育施設管理運営事業	
	・市内地域間の市民スポーツ交流事業	
	・市外自治体とのスポーツ交流事業	
	・交流・滞在型スポーツ推進事業	○
競技力向上の取組み	・長距離選手の育成支援事業	
	・種目別競技力向上対策事業	
	・スポーツ上位大会参加活動支援事業	
	・各種スポーツ団体の育成支援事業	
	・スポーツ推進委員設置事業	
スポーツ施設整備の取組み	・パークゴルフ場整備事業	
	・テニスコート増設事業	

指 標	初期値 (平成 26 年度)	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 31 年度)
芸術文化団体数	226 団体	235 団体	271 団体
鑑賞者数	81,000 人	85,000 人	100,000 人
芸術祭参加数	0 人	0 人	500 人



重点プログラム

拡充

現状維持

改善・再構築

終了・廃止

取組内容	事業名	評価
市民の自主的な芸術文化活動 推進の取組み	・総合芸術祭支援事業	
	・地域文化団体育成事業	
魅力ある鑑賞事業・体験事業 の充実の取組み	・学校等芸術文化活動支援事業	
市民参加型による芸術文化の 推進の取組み	・魅力ある芸術文化活動推進事業	
	・アートによるふれあい交流事業	
	・総合美術展覧会開催事業	

### 3 . 文化

指 標	初期値 (平成 26 年度)	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 31 年度)
「文化財の保護と活用」に 「満足」「やや満足」して いる割合 アンケート調査結果	市民 24.2%	市民 28.1%	市民 35.0%
文化財案内のパンフレッ トの配布数	9,000 枚	8,900 枚	12,000 枚
「郷土を愛する心を育む 教育」に「満足」「やや満 足」している割合 アンケート調査結果	市民 16.4%	市民 20.4%	市民 40.0%
南相馬市で「自慢できると ころ」「好きなところ」が 「ある」「少しある」とい う割合 アンケート調査結果	小学生 53.4% 中学生 46.0%	小学生 56.5% 中学生 50.2%	小学生 75.0% 中学生 75.0%
民俗芸能団体数	59 団体	59 団体	59 団体

「アンケート調査結果」はH 2 8 年度に調査した結果です。

重点プログラム

拡充

現状維持

改善・再構築

終了・廃止

取組内容	事業名	評価
指定文化財等の適切な保護・保存の取組み	・歴史文化基本構想等の策定事業	
	・指定文化財等の復旧修理保存事業	
	・埋蔵文化財発掘調査事業	
	・出土遺物の適正管理事業	
	・泉官衙遺跡史跡整備事業	
	・大悲山石仏保存事業	
	・浦尻貝塚保存整備事業	
被災文化財等の復旧及び震災関連資料伝承への取組み	・震災関連資料の保存・活用事業	
文化財見学・公開促進の取組み	・魅力ある文化財公開事業	
	・市民主体による文化財活用事業	
地域文化伝承の取組み	・博物館管理運営事業	
	・博物館企画展示事業	
	・博物館体験学習講座開催事業	
	・博物館協議会設置事業	
	・美術品等選定購入事業	
	・報徳精神がいきづくまちづくり事業	
	・市町史編さん事業	
民俗芸能伝承活動支援の取組み	・民俗芸能発表会事業	

#### 4 . 幼児教育

指 標	初期値 (平成 26 年度)	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 31 年度)
子育て支援センター利用者数	延べ 10,074 人	延べ 6,891 人	延べ 12,000 人
「子育て支援」に「満足」「やや満足」している割合 アンケート調査結果	市民 14.6%	市民 17.8%	市民 30.0%
市内幼稚園・保育園再開施設数	15 施設	16 施設	18 施設
「幼稚園・保育園等における幼児教育の充実」に「満足」「やや満足」している割合 アンケート調査結果	市民 20.8%	市民 26.0%	市民 40.0%

「アンケート調査結果」はH 2 8 年度に調査した結果です。

重点プログラム

拡充

現状維持

改善・再構築

終了・廃止

取組内容	事業名	評価
家庭や地域における子育て支援充実の取組み	・地域子育て連携強化事業	
	・子育て支援センター活用事業	
地域の中で安心して子育てできる環境充実の取組み	・一時預かり事業	
小学校入学前教育推進の取組み	・幼稚園・保育園・小学校交流事業	
放課後児童健全育成推進の取組み	・放課後児童健全育成事業	
	・児童館運営事業	
	・鹿島児童クラブ整備事業	
子育て世代への経済的な支援の取組み	・保育園（所）保育料無料化事業	
	・幼稚園授業料無料化事業	
	・認可外保育施設入所者支援事業	
保育サービス充実の取組み	・一時預かり事業（再掲）	